

社会福祉法人
青葉福祉会

松寿園だより

特別養護老人ホーム

松寿園

兵庫県丹波市氷上町
新郷 1705

電話(0795)
82-4766番

利用者の作品と雛まつり





あの日を忘れない

施設長 山口和也

三月に入りまだ寒い日が続いている。園内も風邪・インフルエンザの対策を継続しながら、すぐそこまで近づいている春の足音に耳を澄ませながらその時を心待ちにしているところです。

そんな中、あの東日本大震災から三年目にあたる三月十一日を迎えた。

前日からテレビやラジオでも震災関連の放送が流れ、特別番組も組まれる中あの日の事を思い出していました。震災による犠牲者は死者・行方不明者をあわせると一万八千人を超え、今なお仮設住宅での生活を余儀なくされている方、福島県の原発の問題も深刻な状況が続いている。

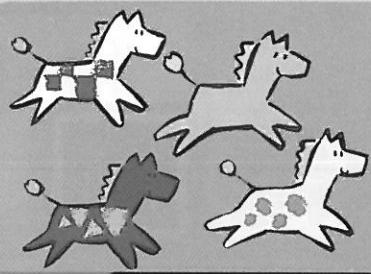
あの日から国内では沢山のことが変化し私達の生活にも影響を及ぼして来たことは間違ありません。遠く離れた関西圏でも厳しい現状がある中で、被災された方のこの三年は想像できないくらいの悲しみ・苦しみ・絶望があつたと思います。復興にむけて一步一歩進んでいるとはいえるその速度はあまりにゆるやかではつきりとした

終着点はみえていません。本当の意味での復興・幸せが訪れるにはまだまだ時間がかかると思いますし、支援が必要です。私達に何ができるのか分かりませんがはつきりと言えることは「あの日を忘れないこと」阪神淡路大震災を経験した私達ですから少なくとも被災された人の気持ちを理解することはできます。「私達は震災のこと

を忘れていませんよ」というメッセージをこの丹波の地から送り続けたいと思います。

いつ何処で大きな震災がおこるか誰にも分かりません。もしもの時にどうするかを地域とも連携し防災対策を進めていく必要がいまの松寿園にはあるのだと思っています。

新しい年度がスタートします。心新たに職員一同ご利用者皆様のよりよい生活のためのサポートをさせて頂けるように自己研鑽に励み、新しい取り組みも進めていきますのでどうか温かいご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。



私たち 年男・年女



渡邊 梅野さま (大正7年生)

お腹が痛いのが良くなつて元気で1年を過ごしたい。市島の家も気になるかなあ?



十倉 いつ子さま (大正7年生)

このままが一番いい! お父さんが居なくなつてからすごく寂しくなつたけど「慈愛の心」で皆様に親切にしたい。



堀 幸子さま (昭和5年生)

良い年にはしたいけどなあー、良くなるかなあー、元気が一番です。



芦田 征生さま (昭和17年生)

体調を崩さずに元気に過ごしたい。充実した1年が過ごせるように笑って暮らしたい。



藤田 恵勝さま (昭和17年生)

好きなテレビ番組を観てのんびりと1年が自分のペースで過ごせたら良いなあ。



節 分



鬼はだれでしょう？



忘年会



大好きなすき焼きに
思わずニンマリ

紅葉
ドライブ

高山寺の紅葉狩り
に満足顔



一曲いがが？



おいしいわー
もう一杯!!



トピックス!!

南保育園の園児が来園!!



40名の園児が保育園から歩いて来て頂きました。元気の良いダンスや歌を聞かせて頂き、利用者の方も楽しくされており、お別れの時には、かわいいプレゼントを頂き大変喜ばれました。有り難うございました。



丹波市老連氷上支部との交流



例年、お世話になっていますが、見事な踊りやすばらいし声で詩吟を披露して頂きました。お互いに元気を貰ったひとときでした。

ご寄付・ご寄贈をいただきました ありがとうございました。

(平成25年1月～平成26年3月までを掲載) 敬称略

藤原はつ子・丹波市老連氷上支部・神戸新聞厚生事業団・臼井一郎

勢志喜代司	精米30kg
大木 豊	茄子
J A女性会	タオル
稻次つる代	餅米30kg
古田 重義	米30kg
丹波市老連氷上支部	タオル
安達 忠清	精米30kg
宮脇 隆	黒豆
坂本 勇	精米30kg
衣巻 雪子	精米30kg
善意銀行	タオル・石鹼
福田 實	紙パンツ
塚松 辰雄	カラオケ専用テレビ
ネットトヨタ神戸(株)	車椅子(ヘッドレスト付き) 1台

職員の募集

◆募集人員：若干名

◆職 種：介護職員（常勤パート）・看護正職員（正看護師・准看護師）

朝食（準備）手伝い職員（パート）・清掃、洗濯職員（パート）

◆給 与 等：面談の上決定いたします

希望者は松寿園へ

◆担 当：山口まで

◆電 話：0795-82-4766





又お経は亡くなつた人のためにあるのではなく、今生きている人のためにあり、ご先祖様がこうして生きるんだ、こうして暮らしていくのだと教えていた。その後、理事長のハーモニカで「春の歌」を歌いました。

東日本大震災から三年、今生かされている命を大切にしながら、助け合い、支え合つて暮らしていく普通の毎日が尊いのだと感じたひとときでした。

三月十五日は各地で法要が営まれるということでした。人には欲があり、それを我慢したり、譲つたりして、持てる物を分け与え、ご先祖様のおかげで今日の自分があり、楽しく過ごせると感謝して過ごすことが大切だと言われました。

春は名のみの日が続いています。今年の冬はことのほか寒く感じられ春の訪れを待ちわびる毎日です。松寿園では、毎月理事長朝礼があります。二月の朝礼は涅槃の話で、達身寺の住職である渡邊健臣理事長の法話を利用者様と一緒に聞く機会があります。三月の朝礼は涅槃の話で、

春は名のみの日が続いています。

今年の冬はことのほか寒く感じられ春の訪れを待ちわびる毎日です。

まつばかり